

報道関係各位

令和7年10月7日
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校

練習船耕洋丸第123次航海（遠洋航海）出港式（お知らせ）

概要

令和7年10月12日（日）、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校所属漁業練習船「耕洋丸」は、乗組員及び教員35名、海洋生産管理学科29名および海洋機械工学科22名の4年次生51名、合計86名を乗せ、太平洋方面へ69日間の遠洋航海に出港します。

本航海では、乗船学生に対する航海学・機関学など船舶運航に関する講義実習のほか、航海運用・機関実習・漁業（まぐろ延縄）実習・海洋観測実習を実施します。本航海の国内寄港先は那覇港・鹿児島港・高知港のほか、国外寄港先にポンペイ港（ミクロネシア連邦）を予定しております。

なお、出港日の10月12日には、15時50分より出港式を執り行います。
詳細は、別添資料をご覧ください。

注 出港式は小雨決行、荒天の場合は中止することがございます。

中止の場合は水産大学校ホームページ上でお知らせ致しますので、ご承知おき下さい。

（別添資料）

1. 水産大学校練習船耕洋丸第123次航海（遠洋航海）出港式について
2. スタンバイの謂れ
3. 練習船へのアクセス
4. 耕洋丸出港式取材申込書

問い合わせ先

[練習船耕洋丸第123次航海に関すること]

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校
校務部長 生駒 潔
TEL 083-286-5111

[取材申込・その他本校広報に関すること]

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校
業務推進課
TEL 083-264-2033 / E-Mail : zenpan@fish-u.ac.jp

漁業練習船 耕洋丸 (第123次航海)

遠洋航海 出港式 次第

○ 令和7年10月12日(日) 15時50分から(約30分間)

1. 開式の辞

2. 校長式辞 しもかわ しんや
下川 伸也 (水産大学校校長)

3. 来賓祝辞 まえだ しんたろう
前田 晋太郎 (下関市長)

(市長代理) てづか じゅん
手塚 潤 (農林水産振興部水産振興課長)

4. 代表祝辞 ふじい てつお
藤井 徹生 (水産大学校代表)

5. 実習生代表挨拶 くりもと ゆうひ
栗本 祐飛 (海洋生産管理学科4年生)

6. 船長挨拶 ふかみ きよひこ
富賀 見 清彦 (耕洋丸船長)

花束贈呈 なかむら
中村 みずほ (専攻科 船舶運航課程)

7. 閉会の辞

漁業練習船	耕洋丸（国際航海船（第三種甲区域））	
	定係港	下関港（下関市）
	総トン数（国内）	2, 3 5 2 トン
	国際総トン数	2, 7 0 3 トン
	全長	8 7. 5 9 m
	出力	3, 9 0 0 k W（2 サイクル）
	船型	鋼製スタントロール型
	航海速力	約 1 4 ノット
	最大搭載人員	1 0 9 名
	竣工	平成 1 9 年（2 0 0 7 年）6 月

乗船人数	乗組員及び教員数	3 5 名
	学 生 数 海洋生産管理学科	2 9 名
	海洋機械工学科	2 2 名
	合 計	8 6 名

航 程	8, 4 3 5 海里
航海日数	6 9 日間
教育内容	航海運用
	機関実習
	漁業実習（鮪延縄漁業）
	海洋観測実習

寄 港 地	ポンペイ港（ミクロネシア連邦）
	那覇港（沖縄県）
	鹿児島港（鹿児島県）
	高知港（高知県）

快鷹丸 殉難歌

逢いはせなんだかよ（ソレ）
館山沖でよ（ソレ）
二本マストのよ（ソレ）
快鷹丸そかよ（ソレ）
（ゴウヘイ
ゴウヘイ
ゴウヘイサァ）

沖にチラホラよ（ソレ）
航海ランプよ（ソレ）
あれは水産のよ（ソレ）
快鷹丸そかよ（ソレ）
（ゴウヘイ
ゴウヘイ
ゴウヘイサァ）

糧はつきるともよ（ソレ）
元気はつきぬよ（ソレ）
遠洋漁業のよ（ソレ）
勇ましい姿よ（ソレ）
（ゴウヘイ
ゴウヘイ
ゴウヘイサァ）

快鷹丸メモ

総トン数 137.66 G T
全 長 28.85m
船 型 スクーナ型帆船（2本マスト）
造 船 所 IHI〈石川島播磨重工業〉

スタンバイの謂れ

明治40年9月、水産講習所練習船快鷹丸は実習航海の途中、韓国迎日湾で猛烈な暴風雨に遭遇し、必死の救難作業の甲斐もなく座礁した。痛ましい海難で発生した犠牲者の教官1名と学生3名を追悼するために作られた鎮魂の詩がこの殉難歌である。詩吟に合わせて行う動作と掛け声は、船内に打ち込んだ海水を汲み出し、快鷹丸を前進させる意味を表す。

本来、スタンバイとは用意の意味を表す号令詞であるが、快鷹丸殉難歌の詩吟に合わせて行う動作の用意のために指示した号令詞「快鷹丸殉難歌スタンバイ」の「スタンバイ」が、歴史の過程で、詩吟に合わせるこの動作を意味するようになった。

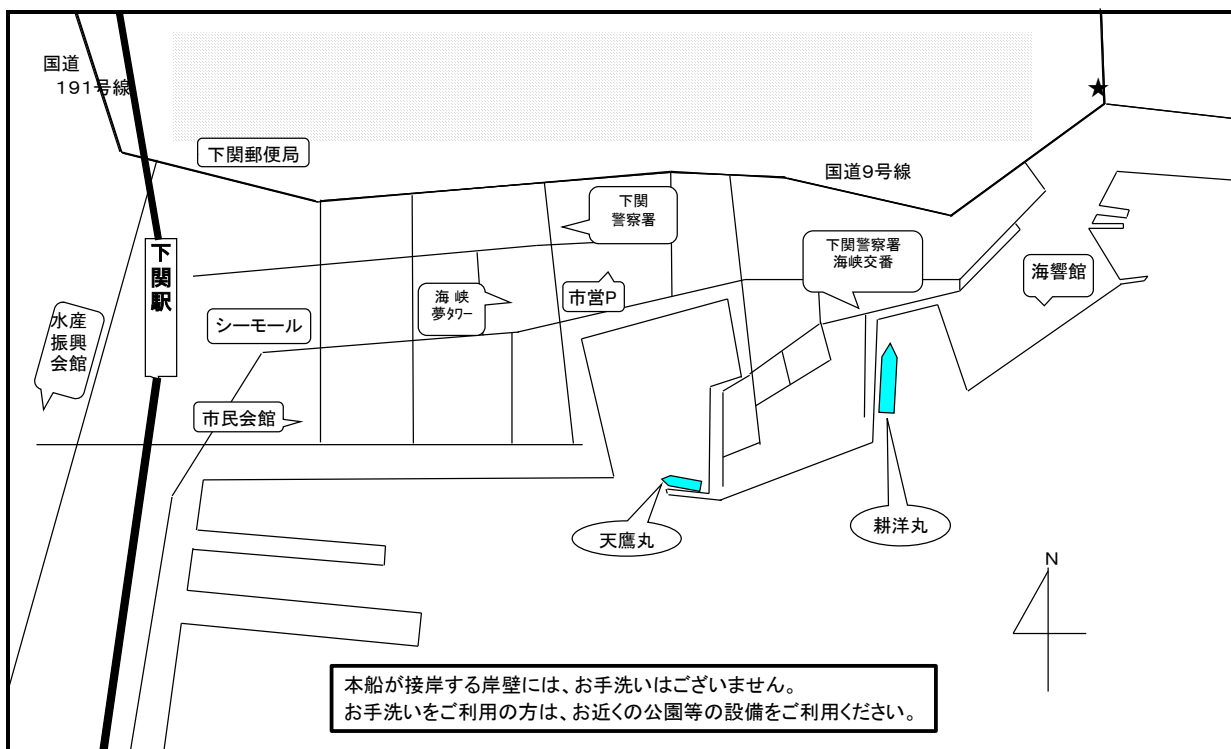
水産大学校学寮「滄溟寮」の伝統的行事として、4年生の遠洋航海の出港時、航海の安全を祈って滄溟寮の1、2年生により行われる。また時に、同窓会、惜別の会などで心をつににする時、列席した同窓生により行われることがある。

近年、他の大学には全くみられないバンカラの気風が、海と水産の意気込みを示す水産講習所下関分所時代からの伝統として、学寮「滄溟寮」に伝えられている。

文責：本村紘治郎

（元水産大学校校長、漁業学科17期卒）

練習船へのアクセス(耕洋丸・天鷹丸)



＜交通アクセス＞

1. 鉄道

(1) JR山陽本線「下関駅」で下車し「下関駅」東口から天鷹丸まで徒歩約25分、耕洋丸まで徒歩約30分です。

(2) JR新幹線利用時は「新下関駅」でJR山陽本線へ乗り継ぎ「下関駅」で下車
または、「小倉駅」でJR鹿児島本線へ乗り継ぎ「下関駅」で下車して下さい。

注:JR新幹線「新下関駅」利用時には「のぞみ・ひかり(一部除く)」は停車しません。
途中「こだま」への乗り継ぎが必要になりますのでご注意ください。)

2. 飛行機

(1)「山口宇部空港」から「下関駅」まで連絡バス(サンデン交通)が運行しています。
運賃片道3,000円、所要時間は約75分です。

(2)「新北九州空港」から「小倉駅バスセンター」まで連絡バスが運行しています。
運賃片道710円、所要時間は約50分(ノンストップ便は約35分)です。

3. 自動車

(1) 下関ICで下り料金所を通過して一番左のレーンへ進み「下関市街」へ向かってください。
途中「棕野トンネル」を過ぎ2つ目の信号を左折し直進して下さい。(上記地図の★印あたりに着きます)

※詳しくは、各社の時刻表等でご確認下さい。

＜運航・その他に関する問い合わせ＞

〒759-6595 山口県下関市永田本町二丁目7番1号

国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校

TEL: 083-286-5111 FAX: 083-264-2080

2025年 10月 日

水産大学校 あて
FAX 083-264-2080

耕洋丸出港式取材申込書

取材日	2025年10月12日(日曜日)
到着予定時刻	
社名	
取材者氏名	
	計 名
連絡先	

※駐車台数に限りがございます。1台でのご来場にご協力をお願いします。